

授業科目、担当者（実務経験のある教員等含む）及び時間数の一覧

2022 年度

学校名	国際動物看護専門学校
学科名	動物看護学科

単位時間

区分	科目名	教員名	実務経験の有無	1年次		2年次		3年次		合計	
				前期	後期	前期	後期	前期	後期		
授業科目及び授業時間数表	専門科目	グルーミング実習	萬澤 恵理	○	240	120					360
		グルーミング理論	長尾 麻紀子	○	30						30
		家庭動物管理学	小西 伴彦	○	30						30
		犬のしつけ学	小西 伴彦	○	30						30
		犬学	長尾 麻紀子	○	30						30
		動物栄養学Ⅰ	横山 歩	○	30						30
		動物内科看護学Ⅰ	矢地 彩加	○	30						30
		動物内科看護学実習Ⅰ	矢地 彩加	○	30						30
		動物形態機能学Ⅰ	中村 武文	○		60					60
		動物形態機能学実習	中村 武文	○		30					30
		動物繁殖学	宮原 佳奈	○		30					30
		生命倫理・動物福祉	横山 歩	○		30					30
		人と動物の関係学	小西 伴彦	○		30					30
		動物看護学概論	矢地 彩加	○		30					30
		動物感染症学	中山 小百合	○		90					90
		動物看護総合実習Ⅰ	矢地 彩加			60					60
		小 計（単位時間）				450	480				
	専門科目	動物形態機能学Ⅱ	阿部 隆起	○			60				60
		動物臨床検査学	横田 真早子	○			30				30
		動物臨床検査学実習	横田 真早子	○			60				60
		動物病理学	岡田 俊夫	○			30				30
		愛玩動物学Ⅰ	宮原 佳奈	○			30				30
		動物医療コミュニケーション	斉田 千春	○			30				30
		動物臨床看護学総論	斉田 千春	○			30				30
		動物内科看護学Ⅱ	中村 武文	○			30				30
		動物内科看護学実習Ⅱ	中村 武文	○			30				30
		動物外科看護学	中山 小百合	○			30	30			60
		動物外科看護学実習	中山 小百合	○			30	60			90
		動物薬理学	中山 小百合	○			30	30			60
		動物臨床看護学各論	阿部 隆起	○			60	60			120
		動物内科看護学Ⅲ	横田 真早子	○				30			30
		動物内科看護学実習Ⅲ	横田 真早子	○				60			60
		動物栄養学Ⅱ	横山 歩	○				30			30
		動物臨床看護学実習	斉田 千春	○				60			60
		国家試験対策	横山 歩					120			120
		動物看護総合実習Ⅱ	横山 歩				45	45			90
小 計（単位時間）						525	525			1050	
専門科目	動物関連法規	八木 幸隆	○					30		30	
	公衆衛生学	八木 幸隆	○					60		60	
	動物行動学	小西 伴彦	○					30		30	
	比較動物学	山口 徹	○					60		60	
	愛玩動物学Ⅱ	宮原 佳奈	○					30		30	
	適正飼養指導論	横山 歩						60		60	
	動物生活環境学	宮原 佳奈						30		30	
	ペット関連産業概論	矢地 彩加						30		30	
	動物愛護・適正飼養実習	横山 歩						30		30	
	動物看護総合実習Ⅲ	宮原 佳奈						90		90	
	国家試験対策	宮原 佳奈						120	300	420	
	臨地実習	宮原 佳奈							240	240	
	小 計（単位時間）								570	540	1110
合 計（単位時間）				450	480	525	525	570	540	3090	
うち、実務経験のある教員の時間数（単位時間）				450	420	480	360	210		1920	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物関連法規		動物看護学科/3年	2024/前期	講義
	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	30単位時間	必須	八木 幸隆
授業の概要				
動物看護に関連する法規として、法の体系や愛玩動物看護師法、獣医療関連や公衆衛生に関する法規の基礎を学修する。また、動物の愛護及び適正飼養に関連する法規を学び、人と動物の共生やあり方などを理解する。				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・法の体系や愛玩動物看護師法、獣医療関連行政法規を学修することで獣医療に関する法規と愛玩動物看護師の関わりが理解できる。 ・公衆衛生・薬事行政法規を学修し、狂犬病やその他の感染症に関する法律や医薬品、麻薬及び毒物に関する取締法の概要が理解できる。 ・動物の愛護と適正飼養の概念や法規が理解できる。 				
実務経験有無		実務経験内容		
有		獣医師として農林省動物検疫所に勤務5年 獣医師として石川県厚生部や保健所に勤務32年		
時間外に必要な学修				
各講義で実施した内容をノートなどを使用して復習する				
回	テーマ	内容		
1	法の基礎知識	法の体系について概要や要点や学修する		
2	各分野に関する法規①	「愛玩動物看護師法」の目的や定義について理解するとともに免許、試験、業務、罰則等を学修する		
3	各分野に関する法規②	「獣医師法」、「獣医療法」それぞれ概要について理解し、要点を学修する		
4	各分野に関する法規③	「公衆衛生行政法規」について概要を理解し、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律を学修する		
5	各分野に関する法規④	「狂犬病予防法」について概要を理解し、要点を学修する		
6	各分野に関する法規⑤	「薬事行政法規」について概要を理解し、医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保に関する法律を学修する		
7	各分野に関する法規⑥	「麻薬及び向精神薬取締法」、「毒物及び劇物取締法」それぞれ概要について理解し、要点を学修する		
8	愛護・適正飼養関連行政法規の基本	愛護・適正飼養の基本となる概念を学修する		
9	愛護・適正飼養関連行政法規①	愛護・適正飼養に関する法規を理解することで愛玩動物看護師の関わりを学修する		
10	愛護・適正飼養関連行政法規②	動物の愛護及び管理に関する法律を理解し、概要と要点を学修する		
11	愛護・適正飼養関連行政法規③	愛玩動物用飼料の安全性の確保に関する法律を理解し、概要と要点を学修する		
12	社会福祉行政・環境衛生法規①	「身体障害者補助犬法」を理解し、概要と要点を学修する		
13	社会福祉行政・環境衛生法規②	廃棄物の処理及び清掃に関する法律を理解し、概要と要点を学修する		

14	社会福祉行政・環境衛生法規③	化製場等に関する法律を理解し、概要と要点を学修する		
15	まとめ	動物看護、愛護及び適正飼養に関連する全ての基本となる法規をまとめる		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
愛玩動物看護師カリキュラム準拠 教科書5巻 『動物看護関連法規』 (エデュワードプレス) 愛玩動物看護師カリキュラム準拠 動物看護実習テキスト 第3版		期末試験	100.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
公衆衛生学		動物看護学科/3年	2024/前期	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	30回	60単位時間	必須	八木 幸隆
授業の概要				
環境および食品衛生、疫学、人獣共通感染症について学び、人の健康の維持・増進や疾病予防への応用について理解する。				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 獣医療における公衆衛生の目的、公衆衛生行政、One Healthと獣医療の関係を理解する。 ・ 感染の成立、疾病・健康障害の発生要因、予防医学、人獣共通感染症とその対策を理解する。 ・ 環境衛生の歴史、背景、現在の問題点、化学物質による健康被害などを理解する。 ・ 食品衛生、食中毒、動物性食品の衛生、食品衛生管理手法などを理解する。 				
実務経験有無		実務経験内容		
有		獣医師として農林省動物検疫所に勤務5年 獣医師として石川県厚生部や保健所に勤務32年		
時間外に必要な学修				
各講義で実施した内容をノートなどを使用して復習する				
回	テーマ	内容		
1~2	獣医療における公衆衛生の目的、公衆衛生行政、国民衛生の動向	人を対象とした疾病の予防、健康の保持と増進について理解する。保健統計の種類とその意義を理解する。		
3~4	One Healthと獣医療の関係、動物看護師の役割	感染症の制御、食料の安定供給等に向けての獣医師および動物の飼育に伴う動物看護師の役割を理解する。		
5~6	感染の成立、疾病・健康障害の発生要因	感染症発生要因、感染症予防の基本原則および内因と外因が相互に関連する疾病の発生要因を理解する。		
7~8	疫学調査法、人獣共通感染症の定義と概要	疫学研究のフレームワーク（検査手順）、人獣共通感染症の定義、種類、現状など理解する。		
9~10	ウイルス性人獣共通感染症 狂犬病予防	主なウイルス性人獣共通感染症の病因、人における症状、対策などを理解する。		
11~12	ウイルス性、リケッチア性およびクラミジア性人獣共通感染症	主なウイルス性、リケッチア性およびクラミジア性人獣共通感染症の病因、人における症状などを理解する。		
13~14	細菌性人獣共通感染症	主な細菌性人獣共通感染症の病因、人集団における発生状況、人における症状などを理解する。		
15~16	真菌性人獣共通感染症 自然環境および環境衛生の概念	主な真菌性人獣共通感染症の病因などおよび自然環境の循環、環境汚染が生態系に与えるリスクを理解する。		
17~18	生活環境の維持（水、大気、室内、廃棄物）、地球環境問題の概要	水環境・大気環境・室内環境・廃棄物の管理および地球環境問題の概要する方法等を理解する。		
19~20	地域での環境問題（公害）の概要 化学物質や放射性物質による汚染	地域での環境問題（公害）の概要および化学物質と放射線の種類とそれらの取扱いを理解する。		
21~22	衛生動物等による健康被害 食品衛生の概要	健康被害を与える衛生動物等の種類および食品衛生の概要（目的、対象、範囲）を理解する。		
23~24	細菌性食中毒	細菌性食中毒の原因菌、起病性のメカニズム、疫学、予防法を理解する。		

25~ 26	ウイルス性食中毒、自然毒、有害物質による食品汚染と健康障害	ウイルス性および自然毒による食中毒の基礎知識を理解する。化学物質を含む有害物質による健康被害を知る。		
27~ 28	食品添加物、食物アレルギー、微生物制御と腐敗、食品衛生行政	食品添加物の概要、食品に対するアレルギー反応、食品の腐敗メカニズム、食品衛生行政を理解する。		
29~ 30	食品衛生管理、乳、乳製品および食肉、食鳥肉等の衛生	食品衛生に関する行政の役割、動物性食品（乳、乳製品、食肉、食鳥肉、食卵）の衛生を理解する。		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
愛玩動物看護師カリキュラム準拠 教科書5巻 『公衆衛生』 (エデュワードプレス)		期末試験	100.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物行動学		動物看護学科/3年	2024/前期	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	30単位時間	必須	小西 伴彦
授業の概要				
犬や猫の種としての行動様式の特徴を学び、問題行動の原因と対処、予防法を理解する				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・動物行動学の基礎（適応・進化・機構・発達）について理解する ・個体維持反応（摂食・飲水・排泄・身づくろい・護身行動）について理解する ・発達過程と社会行動（各発達ステージ、生殖行動、敵対行動、親和的行動）について理解する ・学習理論（犬のしつけにおける行動形成）について理解する ・問題行動と行動治療について理解する 				
実務経験有無		実務経験内容		
有		<ul style="list-style-type: none"> ①犬の訓練施設を開業 ②動物病院にてしつけ教室を開催 ③ふくい動物愛護管理支援センターに従事 		
時間外に必要な学修				
テキストの読み込み、講義でのノートの復習				
回	テーマ	内容		
1	動物の問題行動に対する考え方	動物はなぜ問題行動を起こすのか、問題行動とはどのようなものなのかを学習する。		
2	犬種による問題点を考える	犬には多くの種類が存在し、それぞれの経緯について理解し、生得的な行動と問題点のつながり、生活における対処法を学修する。		
3	性質や性格による問題行動	動物の行動特性による問題点、性格による問題点をそれぞれ考え、行動と問題点の繋がり方を学修する。		
4	動物のストレスを考える	動物のストレスについての考え方、捉え方、個々の性格や行動特性の影響などを多角的に学修する。		
5	問題となる行動を記録する	問題となる行動はなぜ起こるのか、どのような環境で起こるのか、どのような状況で起こるのかなどを記録する方法とその考え方を学修する。		
6	目標を明確にしていくための教育方針と罰の概念	問題行動に対処するための犬への教育方針をどのように決めていくか、また罰についての考え方も学修する。		
7	問題行動予防のための方法1	問題行動に対する基本的な対処法のツールを、それぞれの影響と効果を学修する。		
8	問題行動予防のための方法2	問題行動に対する基本的な対処法のツールを、それぞれの影響と効果を学修する。		
9	問題行動トピック/トイレのしつけ方1	犬との生活の中で重要なトイレのしつけについて考え方、取り組み方、グッズの利用法などを学修する。		
10	問題行動トピック/トイレのしつけ方2	犬との生活の中で重要なトイレのしつけの実際の方法をディスカッションを交えながら進め、対処法を学修する。		
11	問題行動トピック/犬の吠える問題	犬が引き起こす問題の中で、吠える問題は多く寄せられる項目となるため、その考え方と対処法を学修する。		
12	問題行動トピック/犬の嘔む問題	犬が引き起こす問題の中で、嘔む問題は生活に深刻な影響を及ぼすことから、その考え方と対処法を学修する。		

回	テーマ	内容		
13	問題行動トピック／その他	犬が引き起こす様々な問題点をディスカッションして、それぞれ出てきた問題点についての考え方と対処法を学修する。		
14	問題行動対策の総論	動物が引き起こす問題行動はどのようにして発現し、対応していけばいいのかを学修する。		
15	問題行動対策の総論に対する議論	問題行動対策の改善に向けて前回までの講義を踏まえて、学生とディスカッションし、様々な事柄について学修する。		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
愛玩動物看護師カリキュラム準拠 教科書6巻 『動物行動学』 (エデュワードプレス)		期末試験	100.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
比較動物学		動物看護学科/3年	2024/前期	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	30回	60単位時間	必須	山口 徹
授業の概要				
飼養動物や野生動物の概要を理解するとともに、産業動物の歴史や品種、飼養管理法、実験動物の品種や飼養管理法、動物実験とのかかわり、日本の野生動物の種類と保全、動物園などの展示動物の個体・群管理について学ぶ				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 産業動物の多様性と人間や社会との関連性の知識を身につける中で、個々の家畜の役割とその利用方法の判断ができ、社会における家畜の威容や寄与に貢献できる ・ 実験動物に関する基礎知識を理解することで、動物看護に活かすことができる ・ 野生動物および展示動物を理解することで動物看護に活かすことができる 				
実務経験有無		実務経験内容		
有		県庁へ入庁（家畜保健衛生所）にて勤務。 競馬事業局競馬業務課にて勤務。		
時間外に必要な学修				
テキストや授業のノートをもとに復習し理解を深める				
回	テーマ	内 容		
1	動物の種類および特性① 系統樹	それぞれの生物の分類（系統樹）について理解する		
2	動物の種類および特性② 生息環境	それぞれの生息環境（生態系・生物多様性）について理解する		
3	動物の種類および特性③ 比較	産業動物・実験動物・野生、展示動物を比較しながら、その歴史、社会的位置づけ及び特徴を知る		
4	産業動物とはなにか	動物から家畜への歴史と生産物・能力・社会への貢献について理解する		
5	産業動物として用いられる動物種①	家畜の種類と品種（牛）その価値、飼養管理について理解する		
6	産業動物として用いられる動物種②	家畜の種類と品種（馬・豚）その価値、飼養管理について理解する		
7	産業動物として用いられる動物種③	家畜の種類と品種（綿山羊）その価値、飼養管理について理解する		
8	産業動物として用いられる動物種④	家畜の種類と品種（鶏・蜜蜂）その価値、飼養管理について理解する		
9	特徴的な身体の仕組み①	家畜の種類による胃・腸の違いと機能を理解する		
10	特徴的な身体の仕組み②	家畜の種類による歯・指および生殖器の違いと機能を理解する		
11	繁殖	家畜の種類別による繁殖方法から生産性や知用方法の違いを理解する		
12	疾病と対処①	家畜ごとの特徴的疾患と対処法について理解する		
13	疾病と対処②	家畜ごとの特徴的疾患と対処法について理解する		

回	テーマ	内容		
14	飼養衛生管理	家畜別の衛生管理基準により衛生の重要性を知る		
15	畜産業を取り巻く環境と現状	畜産関係組織と畜産業の地域性、特徴、経済規模を理解する		
16	実験動物学の基礎①	動物実験の目的、意義、歴史などについて理解する 実験動物の関係法規などについて理解する		
17	実験動物学の基礎②	動物実験に使用される動物種・品種・系統の概念などについて理解する		
18	実験動物学の基礎③	実験動物の基本的な取り扱いなどについて理解する 代表的な実験動物の特性と飼養管理、繁殖について理解する		
19	実験動物の制御（コントロール）と疾患モデル①	遺伝的制御について理解する（近交系・クローズドコロニー・交雑群など）		
20	実験動物の制御（コントロール）と疾患モデル②	微生物学的制御について理解する（無菌動物・ノトバイオノート・SPFなど）		
21	実験動物の制御（コントロール）と疾患モデル③	環境制御について理解する		
22	実験動物の制御（コントロール）と疾患モデル④	疾患モデル動物について理解する 動物実験の代替法を理解する		
23	野生動物学の基礎	鳥獣害の現状と保全の意義		
24	野生動物学の分類と生物多様性①	日本在来の動物の生態及び生息環境について理解する		
25	野生動物学の分類と生物多様性②	種の多様性、遺伝子の多様性条約および国家戦略について理解する		
26	絶滅危惧種の保全①	絶滅危惧種の定義および含まれる動物（レッドリストなど）について理解する		
27	絶滅危惧種の保全②	絶滅危惧種の原因について理解する		
28	絶滅危惧種の保全③	絶滅危惧種の保全について理解する		
29	展示動物	展示動物の意義と動物園の役割及び個体管理、行動管理と施設管理について理解する		
30	外来生物	外来種の定義および含まれる動物について理解する 外来生物への対策について理解する		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
愛玩動物看護師カリキュラム準拠 教科書6巻 『比較動物学』 (エデュワードプレス)		期末試験	100.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
愛玩動物学Ⅱ		動物看護学科/3年	2024/前期	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	30単位時間	必須	宮原 佳奈
授業の概要				
人と綿密な関係を築く動物は伴侶動物と呼ばれ、本講義では飼育が一般化しつつあるウサギやハムスターなどのエキゾチックアニマルと呼ばれる伴侶動物に関して学ぶ。伴侶動物の歴史や品種、生態だけでなく、各動物の解剖学的特徴や飼育環境を理解し、環境整備の方法を習得する。また、各動物の代表的な病気や予防に関する知識も併せて習得する。				
授業終了後の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> 各動物の特徴、生態に関して正しい情報を理解している 適切な飼育環境、食事について動物を飼育したことがない人にも説明ができる また、各動物の飼育上知っておくべき主要な病気やその予防法についても知識を有し、適切な接し方を伝えることができる 				
実務経験有無		実務経験内容		
有		動物看護師として動物病院に勤務		
時間外に必要な学修				
各講義で実施した内容をノートなどを使用して復習すること				
回	テーマ	学修内容		
1	エキゾチックアニマルの歴史と飼育状況	現在飼育されている主なエキゾチックアニマルの現状と動向を学び、社会における動物飼育の理解を深める		
2	鳥類の解剖生理①	鳥類の主な特徴、骨と骨格、筋肉、羽毛と翼、鳥の基本保定について学ぶ		
3	鳥類の解剖生理②	鳥類の呼吸器、消化器、泌尿器、生殖器、リンパ組織について学ぶ		
4	セキセイインコの解剖生理	セキセイインコの種類、生態、解剖学的特徴、雄雌の鑑別を学ぶ		
5	セキセイインコの飼育方法・疾病	セキセイインコ飼育環境の整備、食事管理、代表的な疾病を学ぶ		
6	ウサギの解剖生理	ウサギの種類、生態、解剖学的特徴、雄雌の鑑別を学ぶ		
7	ウサギの飼育方法・疾病	飼育環境の整備、食事管理を学ぶ。 代表的な疾病と予防法を学ぶ		
8	ハムスターの解剖生理	ハムスターの種類、生態、解剖学的特徴、雄雌の鑑別を学ぶ		
9	ハムスターの飼育方法・疾病	ハムスターの飼育環境の整備、食事管理を学ぶ。 ハムスターの代表的な疾病と予防法を学ぶ		
10	モルモットの解剖生理	モルモットの種類、生態、解剖学的特徴、雄雌の鑑別を学ぶ		
11	モルモットの飼育方法・疾病	モルモットの飼育環境の整備、食事管理を学ぶ。 モルモットの代表的な疾病と予防法を学ぶ		
12	フェレットの解剖生理	フェレットの種類、生態、解剖学的特徴、雄雌の鑑別を学ぶ		

13	フェレットの飼育方法・疾病	フェレットの飼育環境の整備、食事管理を学ぶ。 フェレットの代表的な疾病と予防法を学ぶ		
14	爬虫類	代表的な爬虫類の種類と飼育環境を理解する。 注意すべき疾病と予防法を学ぶ		
15	両生類	代表的な両生類の種類と飼育環境を理解する。 注意すべき疾病と予防法を学ぶ		
教科書・教材		成績評価の方法	評価率	その他
愛玩動物看護師カリキュラム準拠 教科書6巻 『愛玩動物学』 (エデュワードプレス)		期末試験	100.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
適正飼養指導論		動物看護学科/3年	2024/前期	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	30回	60単位時間	必須	横山 歩
授業の概要				
愛玩動物の効用や飼養目的等を理解した上で、適正飼養の推進活動・災害時の危機管理の在り方、動物愛護管理行政の仕組みについて理解する				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・愛玩動物の適正飼養の目的、概念について理解する ・愛玩動物の飼養のニーズや目的、グリーンケア、ペットロスについてその概要と飼い主の心情を踏まえた必要な支援について理解する ・災害時の動向避難の重要性を理解し災害危機管理と支援を行えるようになる ・動物愛護管理行政の役割と構造を理解し、愛玩動物看護師としての立ち位置とその役割を理解する 				
実務経験有無		実務経験内容		
無				
時間外に必要な学修				
テキストや授業のノートをもとに復習し理解を深める				
回	テーマ	内容		
1	適正飼養とは①	現代の愛玩動物の飼養の目的と現状についてグループワークを行い、日本の抱える問題点や課題を知る		
2	適正飼養とは②	まとめた内容と照らし合わせながら愛玩動物の適正飼養の現状を知り、目的と概念について理解を深める。		
3	愛玩動物によって人間が受ける影響	愛玩動物の飼養により得られる「心理的効果」「生理的・身体的効果」「社会的効果」について理解する		
4	愛玩動物によって人間が受ける問題点	飼育マナーとされる公共や社会に対してオーナーとして守るべき事項について知り、それが守られないことによる問題点や懸念点を学ぶ		
5	動物終末期のケア（飼い主）ターミナル・グリーンケアとは	終末期の動物を飼養している飼い主への心のケアの難しさを理解し、伝え方やサポートの仕方、気持ちを理解する方法を知る		
6	動物終末期のケア（飼い主）ペットロスについて①	ペットロスの定義を理解し、段階ごとの特徴を知りその段階に応じた対応方法を知る		
7	動物終末期のケア（飼い主）ペットロスについて②	ペットロスの定義を理解し、段階ごとの特徴を知りその段階に応じた対応方法を知る		
8	適正飼養の推進について 適正飼養に関する支援の目的と活動①	動物取扱業者における適正飼養・過剰繁殖の問題について理解を深める		
9	適正飼養の推進について 適正飼養に関する支援の目的と活動②	愛玩動物の多頭飼育や虐待・遺棄・迷子等の問題やその対策について理解する		
10	適正飼養の推進について 適正飼養に関する支援の目的と活動③	問題行動予防のための適切な飼養方法やしつけ、飼い主への指導を知る		
11	適正飼養の推進について 適正飼養に関する支援の目的と活動④	問題行動予防のための適切な飼養方法やしつけ、飼い主への指導を知り実践的に話を行えるようにする（ロープレ）		
12	適正飼養の推進について 適正飼養に関する支援の目的と活動⑤	民間団体等による適正飼養に関する支援の活動現状について学修する		

回	テーマ	内 容		
13	適正飼養の推進について 適正飼養に関する支援の目的と活動⑥	特別講義予定		
14	適正飼養の推進について まとめ	それぞれのグループで各項目ごとのまとめを行い『適正飼養』とはなにかを発表するための準備を行う		
15	適正飼養の推進について まとめ	それぞれのグループで各項目ごとのまとめを行い『適正飼養』とはなにかを発表する		
16	災害危機管理と支援① 「ガイドライン」	飼い主の責任による動向避難を基本においた「災害時におけるペットの救護対策ガイドライン」について理解を深める		
17	災害危機管理と支援② 「同行避難」	災害対策基本法と災害時の動向避難を推進する背景や、それにおける課題について学び基本的な視点を理解する		
18	災害危機管理と支援③ 「同行避難における防災対策」	災害時における対策は飼い主自らが飼養動物を守る「自助」が大切であることを理解し同行避難における防災対策の重要性を知る		
19	災害危機管理と支援④ 「動物看護師の役割」	平常時における「動物看護師」としての役割とともに啓発運動やボランティアの重要性を知る		
20	災害危機管理と支援 まとめ	①～④までの学習をもとに、ハザードマップの作製とガイドラインについて各班まとめて発表をおこなう		
21	災害危機管理と支援 まとめ	①～④までの学習をもとに、ハザードマップの作製とガイドラインについて各班まとめて発表をおこなう		
22	動物愛護管理行政①	動物愛護管理行政のしくみと役割について理解を深める		
23	動物愛護管理行政②	動物愛護週刊の役割と実施状況について学修する		
24	動物愛護管理行政③	犬・ネコの引き取りおよび負傷動物などの收容ならびに処分の状況について理解を深める		
25	動物愛護管理行政④	動物による事故の内容と報告状況について理解する		
26	動物愛護管理行政⑤	動物愛護管理センターの活動および動物愛護推進員・協議会の役割について理解する		
27	動物愛護管理行政⑥	動物取扱責任者の選任条件と役割・規制について学修する		
28	動物愛護管理行政 まとめ	①～⑥までの学習をもとに、啓発運動におけるPOPの作成を行う		
29	動物愛護管理行政 まとめ	①～⑥までの学習をもとに、啓発運動におけるPOPの発表をおこなう		
30	まとめ	今まで授業内容の総復習とともに理解度を確認するための試験を行う		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
愛玩動物看護師カリキュラム準拠 教科書10巻 『適正飼養指導論』 (エデュワードプレス)		期末試験	100.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物生活環境学		動物看護学科/3年	2023/前期	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	30単位時間	必須	宮原 佳奈
授業の概要				
動物の行動様式を理解した上で、家庭等における使用環境の整備、ペット共生住宅、ペットツーリズム関連施設、ドッグラン、保護収容施設、ペットの教育・訓練施設及び動物介在教育施設の設備・管理の方法、ペットの事故やケガ等のリスクを除去・軽減するための方法や飼育マナーについて学び、人とペットとの共生のための生活環境の在り方を理解する				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・動物行動学を踏まえた人とペットのための使用環境整備の必要性や方法（問題行動予防など）について理解する ・ペットツーリズム関連施設、ドッグラン、保護収容施設（シェルター）について理解する ・ペットへの教育、訓練施設、介在教育施設における役割を理解する ・ペット飼育のマナー、事故やケガ等のリスクへの対応について知る 				
実務経験有無		実務経験内容		
無				
時間外に必要な学修				
各講義で実施した内容をノートなどを使用して復習すること				
回	テーマ	内容		
1	犬の飼養環境整備に関わる法律・基準	犬の動物行動学を踏まえた人とペットのための使用環境整備の必要性や方法（問題行動予防を含む）について学修する		
2	猫の飼養環境整備に関わる法律・基準	猫の動物行動学を踏まえた人とペットのための使用環境整備の必要性や方法（問題行動予防を含む）について学修する		
3	ペットツーリズムの現状と実施方法	ペットツーリズムの現状と実施方法について理解する		
4	ペットツーリズムの現状と実施方法関連施設の整備と管理	ペットツーリズムに関係する施設の環境整備・管理の方法について学修する		
5	動物愛護センター等の役割	動物愛護の変遷と動物愛護センターの在り方の変化について学修する		
6	動物収容保護施設での飼養管理とシェルターメディスン	動物たちの保護ルートと、保護されたあとの飼養と管理方法について学修する		
7	ペットへの教育・訓練施設	ペット飼育における事故やトラブルの現状と問題行動に対する課題を知る		
8	飼い主教育における愛玩動物看護師の役割	ペット飼育に適切な知識と、それを飼い主への教育として行うことの重要性を理解する		
9	教育施設の種類と形態の違い	同伴型・デイケア型・長期預かり型・腫脹型・オンライン型など様々な形態を持つ教育施設の特徴を理解する		
10	動物介在教育施設問題	動物介在教育施設設置の環境整備・管理の方法を知り、現代の動物介在教育施設が抱える問題点について学修する		
11	動物介在教育施設改善	動物介在教育施設設置の環境整備・管理の方法を知り、双方に楽しい飼育を支えるための基本を理解する		
12	ペット飼育のマナー・事故やケガ等のリスクへの対応	飼育マナーの必要性や目的について理解する		

回	テ ー マ	内 容		
13	動物種ごとの飼育のマナー・やケガ等のリスクへの対応	愛玩動物の種類ごとに必要とされている飼育マナーについて理解する		
14	ペット保険	ペット保険の仕組みと実態について学修する		
15	まとめ	学修した内容の総復習とまとめを行う		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
愛玩動物看護師カリキュラム準拠 教科書10巻 『動物生活環境学』 (エデュワードプレス)		期末試験	100.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
ペット関連産業概論		動物看護学科/3年	2024/前期	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	30単位時間	必須	矢地 彩加
授業の概要				
ペット関連産業に従事する者としての職業倫理、行動倫理を理解するとともに、ペット飼育のニーズや形態、ペット関連産業を構成する業種の概要、動物取扱業における動物取扱責任者としての実践的知識や手法を学ぶ。				
授業終了時の到達目標				
ペット関連産業における職業倫理（行動倫理を含む）について理解する ペットの飼養実態と市場規模、各ペット関連産業の現状と課題について理解する 動物取扱業制度の概要について理解する				
実務経験有無	実務経験内容			
無				
時間外に必要な学修				
各講義で実施した内容をノートなどを使用して復習すること				
回	テーマ	内容		
1	ペット関連産業における責任と社会的役割	ペット関連産業における職業倫理や行動倫理について理解する		
2	民法・商法	ペット関連産業に関わる民法および商法について理解する		
3	動物愛護管理法、ペットフード安全法	動物愛護管理法、ペットフード安全法について理解する		
4	消費者契約法、個人情報保護法、労働基準法	消費者契約法、個人情報保護法、労働基準法について理解する		
5	動物の愛護および管理に関する法律	動物の方に基づく事前説明の意義や必要性、実施方法について理解する		
6	ペットの飼育実態と市場規模	ペットの飼育実態とペット関連産業の市場規模について理解する		
7	各ペット関連産業の現状と課題①	ペット関連産業の分類と動物病院の現状について理解する		
8	各ペット関連産業の現状と課題②	動物病院以外のペット関連産業の現状について理解する		
9	動物取扱業	動物取扱業の概要について理解する		
10	第一種動物取扱業①	第一種動物取扱業の概要について理解する		
11	第一種動物取扱業②	第一種動物取扱業に課せられている義務や基準について理解する		
12	第一種動物取扱業③	"		

回	テ ー マ	内 容		
13	第二種動物取扱業	第二種動物取扱業について理解する		
14	動物取扱責任者としての役割①	動物取扱責任者として必要な実践的知識と動物の取扱方法、衛生管理について理解する		
15	動物取扱責任者としての役割②	5つの自由に配慮した飼養管理について理解する		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
愛玩動物看護師カリキュラム準拠 教科書10巻 『ペット関連産業概論』 (エデュワードプレス)		期末試験 確認テスト	70.0% 30.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物愛護・適正飼養実習		動物看護学科/3年	2024/前期	実習
	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	30単位時間	必須	横山 歩
授業の概要				
動物の飼養管理に関する飼い主とのコミュニケーション方法や災害時における管理など基本的な知識を学修する。動物愛護管理における行政や管理センターの活動などについても理解する。				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 飼養環境や散歩方法、しつけなど動物の適切な飼養方法について説明できる ・ 動物の飼養が困難な飼い主や災害時における避難等に対して飼い主への支援が説明できる ・ 動物取扱業における顧客対応ができる 				
実務経験有無		実務経験内容		
無				
時間外に必要な学修				
実習で実施した内容をスムーズに説明、指導できるよう復習する				
回	テーマ	内容		
1	適正飼養指導①	愛玩動物に関する適正飼養の現状を踏まえ、現在特に流通している代表的な犬種の特徴を学修しグループディスカッションを通じて説明する		
2	適正飼養指導②	愛玩動物に関する適正飼養の現状を踏まえ、現在特に流通している代表的な猫種の特徴を学修しグループディスカッションを通じて説明する		
3	適正飼養指導③	小型犬、中型犬、大型犬など犬種に応じた適切な飼育環境の作り方について説明する		
4	適正飼養指導④	猫にとって適切な飼育環境の作り方について説明する		
5	適正飼養指導⑤	犬の散歩時において飼い主として必要となる飼育マナーや社会的マナーの重要性を説明する		
6	適正飼養指導⑥	人と犬が共に生活するうえで無駄吠えや噛み癖など問題行動を予防するために必要な基本的なしつけについて必要性和重要性を項目ごとに説明する		
7	適正飼養指導⑦	愛玩動物に対する虐待・遺棄・迷子等に関する法令に基づいて遵守すべきことを説明する		
8	適正飼養指導⑧	愛玩動物の多頭飼育崩壊や飼い主の高齢化、過剰繁殖等により飼育困難となった飼い主への支援・対応について説明する		
9	災害危機管理・支援①	「災害時におけるペットの救護対策ガイドライン」をもとに平常時飼い主がおこなうべきこと、備えておくことを説明する		
10	災害危機管理・支援②	「災害時におけるペットの救護対策ガイドライン」をもとに災害時飼い主がおこなうべきことや同行避難の方法を説明する		
11	災害危機管理・支援③	避難所におけるペットの飼育状況を事例を基に避難所や仮設住宅におけるペットの飼育マナーと健康管理について説明する		

12	動物愛護管理行政	動物愛護管理センターの活動や取組みについて 動物取扱業第一種の目的や業務について等 愛護センター・シェルター等実際に見学に 入り、学修する		
13				
14				
15				
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
愛玩動物看護師カリキュラム準拠 教科書10巻 『適正飼養指導論』 (エデュワードプレス)		期末試験	100.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物看護総合実習Ⅲ		動物看護学科/3年	2024/前期	外部実習
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	45回	90単位時間	必須	宮原 佳奈
授業の概要				
<ul style="list-style-type: none"> 動物病院の概要（歴史的背景、地域特性、治療方針、スタッフ構成等）を理解し、チームで行う愛玩動物に対する医療を体験する 総合的な動物看護の実務に関わる指導を受け、動物看護師の実務能力を習得する 動物看護師としての役割や責任について、認識を深める 				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> オリエンテーションを受け、動物看護師として実際に就業することを理解する。 指導者の助言を受けつつ、動物病院における獣医師との連携のなかで動物看護計画の展開を取得し、動物看護実務を遂行している能力を養う。 動物看護に関する多くの項目についての技術を可能な限り体験し学習する 動物病院内における動物看護師の役割やチームで行う愛玩動物に対する医療の機能・行動・責務について考えることができる 動物愛護の精神・言葉遣い・プライバシーの尊重など、基本的な事項についての認識を深める 学内でのカリキュラムや各教科と、動物病院における実際の動物看護業務との関連を十分に把握し、実践に活かす 				
実務経験有無		実務経験内容		
無				
時間外に必要な学修				
講義ノート・教科書等により予習・復習につとめ、授業の習熟を図る。				
1～45	動物看護総合実習Ⅲ	院長及び指導者の指示のもと、可能な限り行える総合的な動物看護業務		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
実習プリント		評価表	100.0%	現場の院長先生やスタッフの方々とコミュニケーションをとり、卒業後の進路や就職先の参考にする

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
国家試験対策		動物看護学科/3年	2024/通年	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	210回	420単位時間	必須	宮原 佳奈
授業の概要				
<p>国家資格化される「愛玩動物看護師」資格は、動物医療現場の高度化・多様化に伴い、獣医師と連携を高めることや医療体制強化、動物看護師の業務拡大を目的に誕生した資格である。この授業では国家資格予想問題および前年度まで実施されていた動物看護師統一認定試験の過去問を解き、形態学などの基礎知識から疾患学などの応用知識を総合的に修得し、出題傾向の把握と設問に対する理解力、適切な解答を導くための知識を修得する。</p>				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 時間配分や点数目標を立てながら学習し、自己学習を継続することができる ・ 苦手分野を把握し、弱点強化をすることができる ・ 模擬試験を行うことで、本番への対応力が身に付く 				
実務経験有無		実務経験内容		
無				
時間外に必要な学修				
講義ノート・教科書等により予習・復習につとめ、授業の習熟を図る。				
1～210	国家資格対策	基礎看護～応用看護まですべての領域における予想問題（一般、実地ともに）、関連問題、そのほか苦手な範囲や出題率の高い問題等を解いていく		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
国家試験対策問題集		期末試験 確認テスト	70.0% 30.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
臨地実習		動物看護学科/3年	2024/後期	外部実習
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	120回	240単位時間	必須	宮原 佳奈
授業の概要				
<p>内定先企業で毎日働き、業務内容を理解し新人として実践力を養う。 個人が責任を持って体調管理を行い、実際の調理の仕事を毎日行う経験をする。</p>				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 院内のチームの一員として、様々な業務に加わる。 ・ 学校では触れることのない機材や臨床、症例に触れ学ぶ。 ・ 自ら積極的に仕事を見つけ、行うことができる。 				
実務経験有無		実務経験内容		
無				
時間外に必要な学修				
講義ノート・教科書等により予習・復習につとめ、授業の習熟を図る。				
1~120	内定先新人研修	就職内定先病院の業務を理解し流れを理解する。		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
実習プリント		評価表	100.0%	